## ロサルヒド配合錠の溶出挙動に関わる資料

ニプロESファーマ株式会社

## ロサルヒド配合錠 LD「タナベ」

ロサルヒド配合錠 LD「タナベ」は、1錠中にロサルタンカリウム 50mg 及びヒドロクロロチアジド 12.5mg を含有するフィルムコーティング錠である。

今回、本製剤と標準製剤(先発医薬品)との溶出挙動の類似性を評価するために、「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン」(薬食審査発 0229 第 10 号:平成 24 年 2 月 29 日一部改正)に従い、溶出試験を実施した。

#### 1. 試験方法

### (1)検体

試験製剤:ロサルヒド配合錠LD「タナベ」(Lot No.XGLC)

標準製剤: 先発医薬品(合剤; ロサルタンカリウム 50mg/ヒドロクロロチアジド

12.5mg)

有効成分:ロサルタンカリウム、ヒドロクロロチアジド

#### (2)試験条件

試験法		試験液	試験液量	回転数	
	1	pH1.2:日本薬局方溶出試験第1液			
	2	pH4.0:薄めた McIlvaine の緩衝液	000 I	<b>F</b> O	
パドル法	3	pH6.8:日本薬局方溶出試験第2液	900mL	50rpm	
	4	水 : 日本薬局方精製水			
	5	pH4.0:薄めた McIlvaine の緩衝液	900mL	100rpm	

試験液の温度:37±0.5℃

試験液の選定は「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン」の第3章A.V.3.2)「中性又は塩基性薬物を含む製剤、コーティング製剤」に従い行った。

#### (3) 判定基準

#### A. 平均溶出率

a. 標準製剤が 15 ~ 30 分に平均 85%以上溶出する場合、標準製剤の平均溶出率が 60%及び 85%付近となる適当な 2 時点において、試験製剤の平均溶出率が標準製剤の平均溶出率±15%の範囲にあるか、又は f2 関数の値が 42 以上である。

ロサルタンカリウム:345

ヒドロクロロチアジド: ③45

②標準製剤の溶出にラグ時間が認められたため、ガイドラインに従って、溶出曲線を溶出ラグ時間で補正した後に判定した。

b.標準製剤が30分以内に平均85%以上溶出しない場合で、規定された試験時間において標準製剤の平均溶出率が85%以上となるとき、標準製剤の平均溶出率が40%及び85%付近の適当な2時点において、試験製剤の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±15%の範囲にあるか、又はf2関数の値が42以上である。

ロサルタンカリウム:②標準製剤の溶出にラグ時間が認められたため、ガイドラインに従って、溶出曲線を溶出ラグ時間で補正した後に判定した。

c. 標準製剤が30分以内に平均85%以上溶出しない場合で、規定された試験時間に おいて標準製剤の平均溶出率が50%以上85%に達しないとき、標準製剤が規定さ れた試験時間における平均溶出率の1/2の平均溶出率を示す適当な時点、及び規 定された試験時間において試験製剤の平均溶出率が標準製剤の平均溶出率±12% の範囲にあるか、又は f2 関数の値が 46 以上である。

ヒドロクロロチアジド:①

d. 標準製剤が30分以内に平均85%以上溶出しない場合で、規定された試験時間に おいて標準製剤の平均溶出率が50%以上85%に達しないとき、標準製剤が規定さ れた試験時間における平均溶出率の 1/2 の平均溶出率を示す適当な時点、及び規 定された試験時間において試験製剤の平均溶出率が標準製剤の平均溶出率±12% の範囲にあるか、又は f2 関数の値が 46 以上である。

ロサルタンカリウム:①

### 2. 結果

次表に示す如く、試験製剤の平均溶出率は、いずれの条件においてもガイドラインの基準 に適合した。

ロサルタンカリウムの溶出挙動の類似性の判定

		回転数	判定	平均溶出率	g(%), n=12	平均溶出率		
	試験液		時点 (分)	標準製剤	試験製剤	の差(%)*1	判定基準*2	判定
3	II.C O	50	15	72.0	70.2	- 1.8	±15%以内	適
(3)	pH6.8	50	30	98.1	96.9	- 1.2	±15%以内	適
	71/2	50	15	73.4	63.9	- 9.5	±15%以内	適
4)	④ 水		30	95.7	91.8	- 3.9	±15%以内	適
(5)	ъН40	100	15	75.1	84.8	+9.7	±15%以内	適
(3)	pH4.0	100	30	97.8	100.3	+2.5	±15%以内	適
	式験液	回転数 (rpm)		比較時点(分)		f2 関数	判定基準	判定
1	pH1.2	50	24.5, 48.9, 73.4, 97.8			48	46 以上	適
2	pH4.0#	50	10	0.5, 20.9, 31.	4, 41.8	46	42 以上	適

<sup>\*1</sup> 平均溶出率の差(%)=試験製剤の平均溶出率(%)-標準製剤の平均溶出率(%) \*2 判定基準:平均溶出率の差

ラグ時間補正後の判定

ヒドロクロロチアジドの溶出挙動の類似性の判定

		回転数	判定	平均溶出率	₫(%), n=12	平均溶出率											
	試験液 (		時点 (分)	標準製剤	試験製剤	の差(%)*1	判定基準*2	判定									
1	II1 0	50	60	42.0	49.9	+7.9	±12%以内	適									
	pH1.2	90	120	74.8	77.5	+2.7	±12%以内	適									
2	114 0#	50	11.5	60.0	60.6	+0.6	±15%以内	適									
	② pH4.0#	90	22.9	85.0	90.9	+5.9	±15%以内	適									
3	IIC 0	50	15	63.1	67.9	+4.8	±15%以内	適									
	pH6.8	50	30	88.6	93.1	+4.5	±15%以内	適									
	-Jc	50	15	65.9	61.2	- 4.7	±15%以内	適									
4)	④ 水	90	90	90	90	90	50	50	50	50	50	30	89.7	87.8	- 1.9	±15%以内	適
5	1140	100	15	78.6	84.4	+5.8	±15%以内	適									
(3)	pH4.0	100	30	101.2	99.3	- 1.9	±15%以内	適									

<sup>\*1</sup> 平均溶出率の差(%)=試験製剤の平均溶出率(%)-標準製剤の平均溶出率(%) \*2 判定基準:平均溶出率の差

## 3. 結論

ロサルヒド配合錠 LD「タナベ」及び標準製剤について、ガイドラインで定められている 試験条件で溶出性を比較検討した結果、両製剤の溶出挙動は類似していると判断した。

## 付表

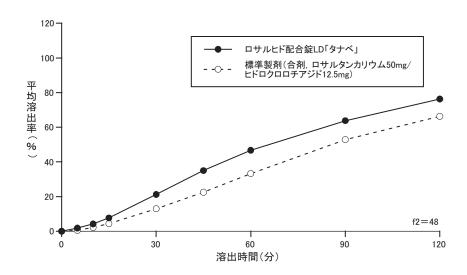
各測定時点における試験製剤と標準製剤の平均溶出率について、表(平均値生標準偏差)及び グラフ(平均値)に示した。

## 1) ロサルタンカリウム

①試験液:pH1.2 回転数:50rpm

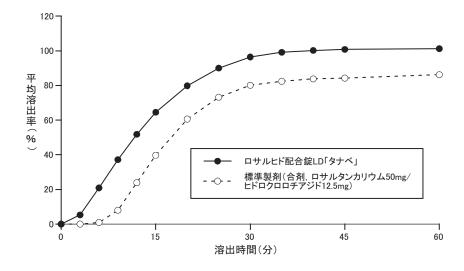
		平均溶出率(%)					
	5 分	10 分	15 分	30 分			
試験製剤	$1.8\pm0.1$	$4.2\pm0.4$	$7.7 \pm 0.8$	21. 2±2. 2			
標準製剤	$0.5\pm0.3$	$2.2\pm0.4$	4.4±0.5	$13.0\pm 1.5$			
	45 分	60 分	90 分	120 分			
試験製剤	$35.0\pm 3.1$	$46.7 \pm 4.6$	$63.8 \pm 5.3$	76.3± 5.4			
標準製剤	$22.5\pm1.5$	$33.3\pm3.4$	$52.9 \pm 6.4$	66. $3\pm10.3$			

<sup>#</sup> ラグ時間補正後の判定



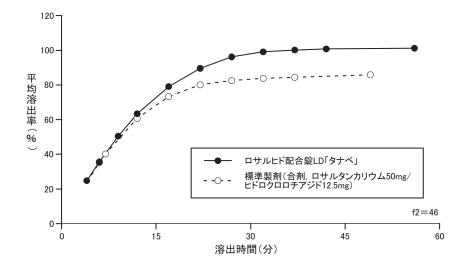
②<ラグ時間補正前>試験液:pH4.0 回転数:50rpm

		平均溶出率(%)				
	3分	6 分	9分	12 分		
試験製剤	5.3±1.3	$20.9 \pm 4.2$	37. 2±6. 2	51.8± 7.3		
標準製剤	$0.0\pm0.0$	0.9±1.0	8.0±5.8	$23.9 \pm 11.1$		
	15 分	20 分	25 分	30 分		
試験製剤	64.5± 7.7	79.8± 6.9	90.0± 5.4	96.4± 4.4		
標準製剤	$39.7 \pm 12.1$	60. $6 \pm 12.2$	$73.2 \pm 11.5$	80.1±11.6		
	35 分	40 分	45 分	60 分		
試験製剤	99.1± 2.5	100.2± 1.6	100.8± 1.5	101.2± 1.1		
標準製剤	82. 4±11. 4	83.8±11.6	84. 2±11. 5	86. 2±11. 3		



②<ラグ時間補正後>試験液:pH4.0 回転数:50rpm

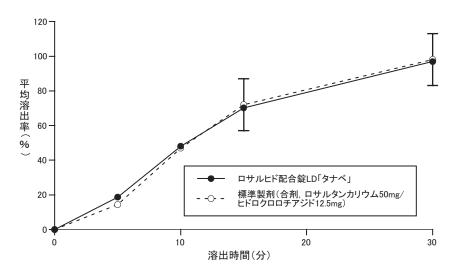
		平均溶出率(%)					
	4分	6分	7分	9分			
試験製剤	24.8±2.5	$35.6 \pm 3.8$	_	50.5±5.1			
標準製剤	_	$35.2\pm 5.7$	40.2±6.5	_			
	12 分	17 分	22 分	27 分			
試験製剤	63. 4±5. 9	79. $1\pm 5.6$	89.6± 4.7	96.2± 3.9			
標準製剤	60.7±9.3	73.3±9.9	80.1±11.1	82. $5 \pm 11.3$			
	32 分	37 分	42 分	49 分			
試験製剤	99.1± 2.4	100.2± 1.6	100.8 $\pm$ 1.5	_			
標準製剤	83.8±11.5	84. 4±11. 4	_	85.9±11.2			
	56 分						
試験製剤	$101.2\pm 1.1$						
標準製剤	_						



③試験液:pH6.8 回転数:50rpm

	平均溶出率(%)					
	5 分	10 分	15 分	30 分		
試験製剤	18.7±6.7	48.1±13.6	70. $2 \pm 16.5$	96. 9±12. 1		
標準製剤	14. 4±3. 7	47.0± 6.1	72.0± 6.9	98.1± 7.3		

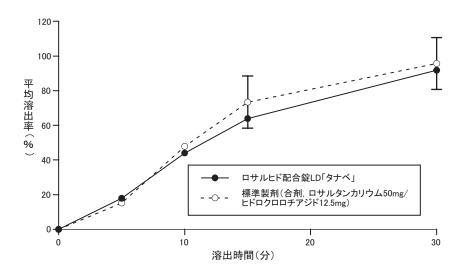
(n=12/時点)



## ④試験液:水 回転数:50rpm

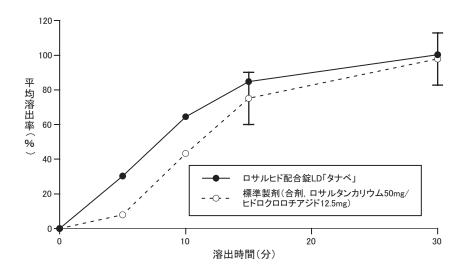
	平均溶出率(%)				
	5 分	10 分	15 分	30 分	
試験製剤	17.9±7.9	44.0±14.5	$63.9 \pm 17.3$	91.8±11.1	
標準製剤	15. 2±4. 2	47.9± 8.6	73.4± 9.6	95.7± 8.4	

(n=12/時点)



⑤試験液:pH4.0 回転数:100rpm

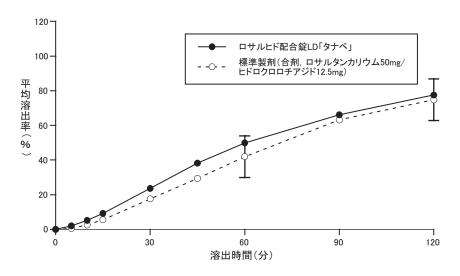
	平均溶出率(%)					
	5 分	10 分	15 分	30 分		
試験製剤	$30.3\pm10.6$	64.5±15.5	$84.8 \pm 12.9$	100.3 $\pm$ 1.7		
標準製剤	7.9± 3.9	43.3± 7.3	75.1± 8.9	97.8±1.7		



## 2) ヒドロクロロチアジド

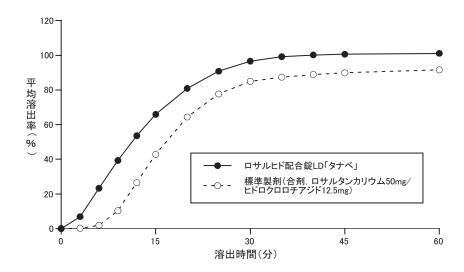
①試験液:pH1.2 回転数:50rpm

		平均溶出率(%)					
	5 分	10 分	15 分	30 分			
試験製剤	$2.2\pm0.2$	$5.2\pm0.5$	9.2±1.0	$23.6\pm2.4$			
標準製剤	$0.5\pm0.2$	$2.6 \pm 0.3$	$5.6 \pm 0.6$	$17.6\pm 2.0$			
	45 分	60 分	90 分	120 分			
試験製剤	38. 2±3. 3	$49.9 \pm 4.5$	66. 1±4. 7	77.5±4.7			
標準製剤	29.4±2.0	42.0±4.3	63. 2±7. 3	74.8±9.2			



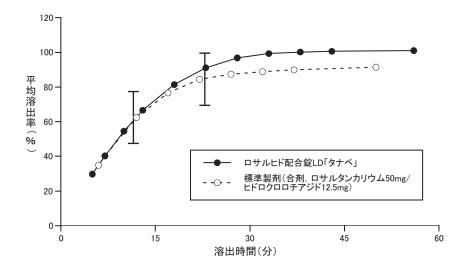
②<ラグ時間補正前>試験液:pH4.0 回転数:50rpm

		平均溶出率(%)				
	3分	6 分	9分	12 分		
試験製剤	6.9±1.6	$23.3 \pm 4.2$	39.3±6.0	53.6± 6.9		
標準製剤	$0.2\pm0.1$	$1.9 \pm 1.3$	10.3 $\pm$ 5.9	$26.5 \pm 10.7$		
	15 分	20 分	25 分	30 分		
試験製剤	65.9± 7.4	80.9± 6.7	90.8± 5.5	96.6± 4.3		
標準製剤	$42.8\pm12.2$	64. 4±11. 9	$77.7 \pm 11.3$	85.0±11.3		
	35 分	40 分	45 分	60 分		
試験製剤	99.2± 2.7	100.2± 1.9	100.6± 1.3	101.1± 1.1		
標準製剤	87.4±10.9	$88.9 \pm 10.8$	$89.9 \pm 10.7$	91. $6 \pm 10.3$		



②<ラグ時間補正後>試験液:pH4.0 回転数:50rpm

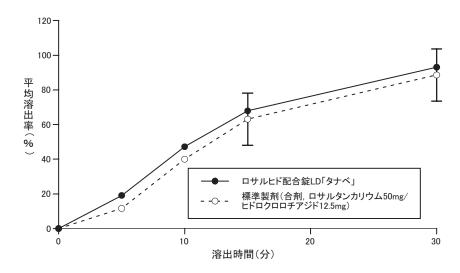
		平均溶	出率(%)	
	5分	6分	7分	10 分
試験製剤	29.7±2.5	_	40.3±3.7	54.5±4.9
標準製剤	_	34.9±5.4	40.2±6.2	_
	12 分	13 分	17 分	18分
試験製剤	_	66.6 $\pm$ 5.7	_	81. 4±5. 5
標準製剤	62. 4±8. 4	_	76.6±9.4	_
	22 分	23 分	27 分	28 分
試験製剤	_	91. $1 \pm 4.7$	_	96.8±3.7
標準製剤	84.5±10.5	_	87. 4±10. 6	_
	32 分	33 分	37 分	38 分
試験製剤	_	99. $3\pm 2.5$	_	100.2±1.7
標準製剤	88.8±10.6	_	89.9±10.6	_
	43 分	50 分	56 分	
試験製剤	100.6 $\pm$ 1.2	_	101.0 $\pm$ 1.1	
標準製剤		91. $4 \pm 10.3$	_	



③試験液:pH6.8 回転数:50rpm

	平均溶出率(%)						
	5 分	10 分	15 分	30 分			
試験製剤	19. $1 \pm 7.0$	47. 2±13. 8	67.9±16.6	93. $1 \pm 12.3$			
標準製剤	11.6±2.9	40.0± 5.8	63.1± 7.8	88.6± 7.1			

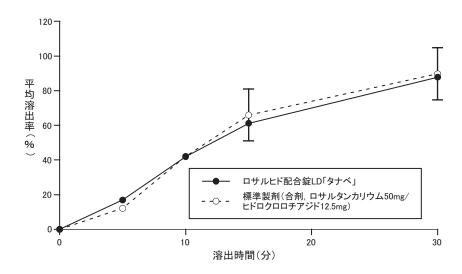
(n=12/時点)



## ④試験液:水 回転数:50rpm

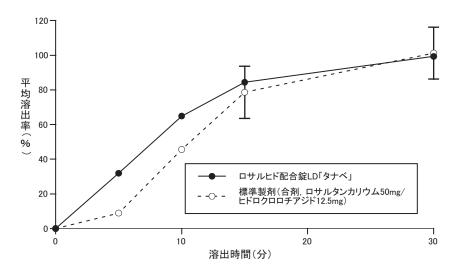
	平均溶出率(%)					
	5 分	10 分	15 分	30 分		
試験製剤	16.9±8.2	$41.9 \pm 15.2$	$61.2 \pm 17.7$	87.8±11.5		
標準製剤	12. $1\pm 3.5$	42.1± 8.4	$65.9 \pm 10.3$	89.7± 9.6		

(n=12/時点)



⑤試験液: pH4.0 回転数: 100rpm

	平均溶出率(%)						
	5 分	10 分	15 分	30 分			
試験製剤	$31.9 \pm 10.2$	64.9±14.9	84. 4±12. 9	99.3±1.7			
標準製剤	8.9± 3.9	45.6± 6.9	78.6± 8.8	$101.2\pm1.3$			



## ロサルヒド配合錠 HD「タナベ」

ロサルヒド配合錠 HD「タナベ」は、1 錠中にロサルタンカリウム  $100 \, \mathrm{mg}$  及びヒドロクロロチアジド  $12.5 \, \mathrm{mg}$  を含有するフィルムコーティング錠である。その処方を「含量が異なる経口固形製剤の生物学的同等性試験ガイドライン」(薬食審査発 0229 第 10 号: 平成 24 年 2 月 29 日一部改正)「第 3 章. 1. 製剤の処方変更水準」に基づき、ヒトを対象とした生物学的同等性試験により先発医薬品との同等性が確認されているロサルヒド配合錠 LD「タナベ」の処方と比較したところ、C 水準であった。

ロサルヒド配合錠 LD「タナベ」を標準製剤として、「第3章.2.要求される試験 C 水準」に 従い4 液性で溶出挙動の同等性を評価した。

### 1. 試験方法

#### (1)検体

試験製剤: ロサルヒド配合錠 HD「タナベ」(Lot No. ZGLA)標準製剤: ロサルヒド配合錠 LD「タナベ」(Lot No. ZCDB)有効成分: ロサルタンカリウム、ヒドロクロロチアジド

#### (2)試験条件

試験法		試験液	試験液量	回転数	
	1	pH1.2:日本薬局方溶出試験第1液			
	2	pH3.0:薄めた McIlvaine の緩衝液	900mL	<b>5</b> 0	
パドル法	3	pH6.8:日本薬局方溶出試験第2液	900mL	50rpm	
	4	水 : 日本薬局方精製水			
	⑤	pH3.0:薄めた McIlvaine の緩衝液	900mL	100rpm	

試験液の温度:37±0.5℃

試験液の選定は「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン」の第3章A.V.3.2)「中性又は塩基性薬物を含む製剤、コーティング製剤」に従い行った。

### (3) 判定基準

ガイドラインの判定基準に従った(該当する基準をガイドラインより抜粋)。

#### A. 平均溶出率

①標準製剤が 15 分以内に平均 85%以上溶出する場合 略

### ②標準製剤が 15 ~ 30 分に平均 85%以上溶出する場合

標準製剤の平均溶出率が約60%及び85%となる適当な2時点において、試験製剤の平均溶出率が標準製剤の平均溶出率±10%の範囲にあるか、又はf2関数の値が50以上である。

ロサルタンカリウム : 345 ヒドロクロロチアジド: 2345

### ③標準製剤が30分以内に平均85%以上溶出しない場合

以下のいずれかの基準に適合する。

a.規定された試験時間において標準製剤の平均溶出率が85%以上となるとき、標準製剤の平均溶出率が40%及び85%付近の適当な2時点において、試験製剤の平均溶出率が標準製剤の平均溶出率±10%の範囲にあるか、又はf2関数の値は50以上である。

ロサルタンカリウム : ②

b. 規定された試験時間において標準製剤の平均溶出率が50%以上85%に達しないとき、標準製剤が規定された試験時間における平均溶出率の1/2の平均溶出率を示す適当な時点、及び規定された試験時間において、試験製剤の平均溶出率が標準製剤の平均溶出率±8%の範囲にあるか、又はf2関数の値が55以上である。

ロサルタンカリウム : ① ヒドロクロロチアジド: ①

c. 略

#### B. 個々の溶出率

最終比較時点における試験製剤の個々の溶出率について、以下のいずれかの基準に 適合する。

a. 標準製剤の平均溶出率が 85% (徐放性製剤では 80%)以上に達するとき、試験製剤の平均溶出率 $\pm 15$ %の範囲を超えるものが 12 個中 1 個以下で、 $\pm 25$ % の範囲を超えるものがない。

ロサルタンカリウム : 345

ヒドロクロロチアジド: 2345

b.標準製剤の平均溶出率が50%以上に達し85% (徐放性製剤では80%)に達しないとき、試験製剤の平均溶出率±12%の範囲を超えるものが12個中1個以下で、±20%の範囲を超えるものがない。

ロサルタンカリウム : ①② ヒドロクロロチアジド: ①

c. 略

## 2. 結果

次表に示す如く、試験製剤の平均溶出率は、いずれの条件においてもガイドラインの基準 に適合した。

## ロサルタンカリウム: 平均溶出率を用いての判定

		判定 回転数 11.12		平均	溶出率(%),n	=12				
Ē	試験液 (rpm)		時点 (分)	標準製剤	試験製剤	溶出率の差 (%)* <sup>1</sup>	判定基準*2	判定		
(1)	pH1.2	50	45	31.1	28.1	-3.0	+ 00/ 171 内	適		
	pm1.2	50	120	70.5	72.0	1.5	士8%以内	週		
2	~H20	50	15	43.6	46.2	2.6	±10%以内	適		
	pH3.0 50	рнэ.о	2) p113.0	p115.0   50	30	79.8	80.1	0.3	1070EXP1	旭
3	рН6.8	50	15	58.8	58.6	-0.2	±10%以内	適		
	рпо.о	50	30	89.6	92.1	2.5	1070EXP1	旭		
(4)	-lv	50	15	68.9	67.6	-1.3	±100/ N 由	適		
4)	④ 水 50	30	94.2	95.2	1.0	±10%以内	旭			
5	~H20	100	15	65.4	70.7	5.3	±10%以内	海		
	pH3.0	100	30	93.3	91.5	-1.8	<b>△10</b> %以内	適		

<sup>\*1</sup> 溶出率の差(%)=試験製剤の平均溶出率(%)-標準製剤の平均溶出率(%) \*2 判定基準:平均溶出率あるいは平均溶出率の差

## ロサルタンカリウム:個々の溶出率(%)を用いての判定

試験液	pH1.2	pH3.0	pH6.8	水	pH3.0
回転数(rpm)	50	50	50	50	100
最終比較時点(分)	120	30	30	30	30
1	61.0	77.8	81.3	95.8	90.6
2	78.5	82.0	96.1	85.8	92.4
3	75.1	69.1	98.0	96.5	92.2
4	65.2	86.5	93.3	96.6	92.9
5	74.7	73.7	97.5	90.5	92.5
6	69.5	86.5	95.8	95.7	91.9
7	77.1	83.4	92.3	96.4	91.4
8	77.3	78.6	97.5	100.4	90.3
9	73.3	87.8	87.2	92.5	89.2
10	67.3	88.3	80.8	98.0	90.6
11	71.4	86.0	98.1	96.5	89.6
12	73.2	61.2	87.0	98.0	93.9
平均	72.0	80.1	92.1	95.2	91.5
最大溶出率	78.5	88.3	98.1	100.4	93.9
最小溶出率	61.0	61.2	80.8	85.8	89.2
基準	$\pm 12\%$	±12%	±15%	$\pm 15\%$	±15%
基準を超える数	0	1 (0)*	0	0	0
判定	適	適	適	適	適

\* ( ): ±20%を超える超えるもの

## ヒドロクロロチアジド:平均溶出率を用いての判定

		判定 回転数 3.5.5		平:	均溶出率(%),	n=12							
Ħ	試験液 (rpm)		時点 (分)	標準製剤	試験製剤	溶出率の差(%)*1	判定基準*2	判定					
1	pH1.2	50	45	33.9	31.1	-2.8	±8%以内	適					
	pn1.2	50	120	73.0	75.9	2.9	1 18%以内	週					
2	~H20	50	15	49.5	49.9	0.4	±10%以内	適					
	② pH3.0 50	p113.0   50	p113.0   50	p113.0   30	p115.0 50	p115.0	p110.0	30	85.3	85.0	-0.3	1070EXP1	VIEW
(3)	рН6.8	50	15	56.0	57.0	1.0	±10%以内	適					
	p116.6	90	30	86.0	89.4	3.4	10% ()						
(4)	水	F0	15	66.1	65.9	-0.2	±100/ N/b	適					
4)	④ 水 50	30	90.8	92.8	2.0	±10%以内	旭						
(5)	112.0	100	15	71.7	76.4	4.7	±100/ N/Þ	適					
	pH3.0	100	30	97.7	97.3	-0.4	±10%以内	通					

- \*1 溶出率の差(%)=試験製剤の平均溶出率(%)-標準製剤の平均溶出率(%) \*2 判定基準:平均溶出率あるいは平均溶出率の差

## ヒドロクロロチアジド:個々の溶出率(%)を用いての判定

試験液	pH1.2	pH3.0	рН6.8	水	pH3.0
回転数(rpm)	50	50	50	50	100
最終比較時点(分)	120	30	30	30	30
1	65.8	83.6	77.2	93.8	97.4
2	81.9	87.7	94.4	81.7	97.8
3	79.1	70.3	97.1	94.8	97.6
4	69.7	92.6	92.3	93.5	98.1
5	78.1	76.7	95.6	84.7	99.0
6	73.6	93.8	92.8	93.7	97.8
7	81.0	89.3	90.1	94.8	97.5
8	80.7	83.4	96.0	98.6	95.2
9	76.7	93.3	82.6	90.3	95.5
10	71.6	95.6	76.1	96.4	96.7
11	75.1	91.9	96.1	94.9	96.0
12	77.1	62.3	83.0	96.4	98.5
平均	75.9	85.0	89.4	92.8	97.3
最大溶出率	81.9	95.6	97.1	98.6	99.0
最小溶出率	65.8	62.3	76.1	81.7	95.2
基準	$\pm 12\%$	±15%	±15%	$\pm 15\%$	$\pm 15\%$
基準を超える数	0	0	0	0	0
判定	適	適	適	適	適

## 3. 結論

ロサルヒド配合錠 HD「タナベ」及び標準製剤について、ガイドラインで定められている 試験条件で溶出性を比較検討した結果、両製剤の溶出挙動は同等であると判断した。

## 付表

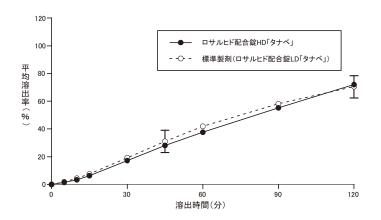
各測定時点における試験製剤と標準製剤の平均溶出率について、表(平均値±標準偏差)及びグラフ(平均値)に示した。

## 1) ロサルタンカリウム

①試験液:pH1.2 回転数:50rpm

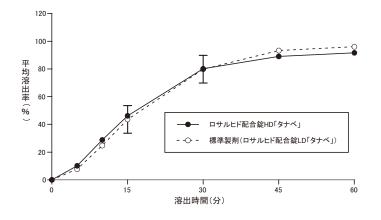
		平均溶出率(%)						
	5 分	10 分	15 分	30 分				
試験製剤	$1.4\pm0.3$	$3.3\pm0.9$	$6.3\pm 2.2$	$17.2 \pm 4.9$				
標準製剤	$1.9\pm0.3$	$4.4\pm0.7$	$7.5 \pm 1.4$	19.2±4.0				
	45 分	60分	90分	120 分				
試験製剤	28. 1±6. 0	37.6±5.8	$55.2\pm 5.7$	$72.0\pm 5.3$				
標準製剤	31. 1±6. 1	41.9±7.7	58. 1 ± 7. 6	70.5 $\pm$ 6.7				

(n=12/時点)



②試験液:pH3.0 回転数:50rpm

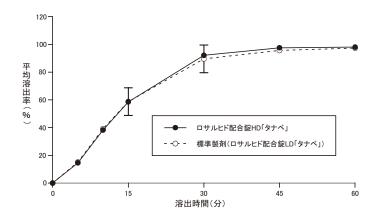
	平均溶出率(%)						
	5分	10 分	15 分	30 分			
試験製剤	10. $1\pm 2.5$	$28.8 \pm 5.7$	46. 2±8. 0	80.1±8.4			
標準製剤	$7.7 \pm 4.7$	24.7±8.1	$43.6 \pm 7.4$	79.8±5.8			
	45 分	60 分					
試験製剤	89.0±6.2	91.6±4.3					
標準製剤	93. 2±3. 2	96.0±1.7					



# ③試験液:pH6.8 回転数:50rpm

		平均溶出率(%)						
	5 分	10 分	15 分	30 分				
試験製剤	14.6±3.8	$38.3\pm7.9$	$58.6 \pm 10.5$	92.1± 6.4				
標準製剤	15. $1\pm 5$ . 6	39.1±11.3	58.8±14.4	89.6±11.0				
	45 分	60 分						
試験製剤	97.6±1.5	98.1±0.8						
標準製剤	95.7±5.7	97. 4±3. 8						

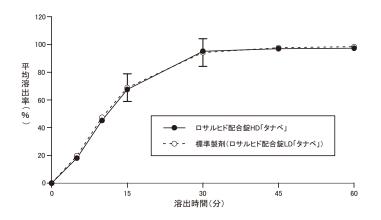
(n=12/時点)



## ④試験液:水 回転数:50rpm

	平均溶出率(%)						
	5分	10 分	15 分	30 分			
試験製剤	18. $1\pm 3.7$	45.2± 8.0	$67.6 \pm 10.1$	95. 2±3. 9			
標準製剤	19.8±6.1	47.4±11.5	68.9±14.4	94. 2±8. 2			
	45 分	60 分					
試験製剤	97.0±1.4	97.3±0.8					
標準製剤	97.7±3.4	98. 4±1. 9					

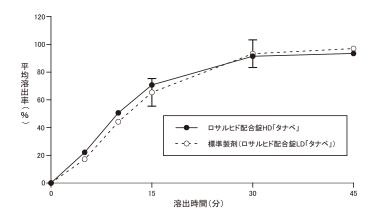
(n=12/時点)



⑤試験液:pH3.0 回転数:100rpm

	平均溶出率(%)				
	5分	10分	15 分	30分	45 分
試験製剤	22. 1±4. 3	50.6±6.9	70.7±7.6	91.5±1.4	93.4±1.7
標準製剤	17.2±6.4	44.2±9.4	65. 4±9. 4	93.3±3.0	97.0±1.6

(n=12/時点)

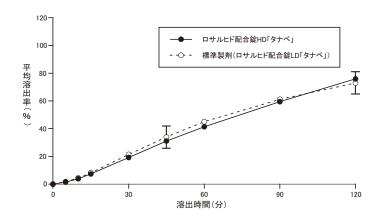


## 2) ヒドロクロロチアジド

①試験液:pH1.2 回転数:50rpm

	平均溶出率(%)					
	5分	10 分	15 分	30 分		
試験製剤	$1.4\pm0.3$	$3.9 \pm 1.0$	$7.3\pm 2.4$	19. $2\pm 5.1$		
標準製剤	1.8±0.3	$4.5\pm0.8$	8.2±1.6	21. 4±4. 4		
	45 分	60 分	90 分	120 分		
試験製剤	31.1±6.0	41. 4±5. 9	$59.5 \pm 5.4$	$75.9 \pm 4.9$		
標準製剤	$33.9 \pm 6.4$	$45.1\pm7.7$	61. 2±7. 3	$73.0\pm 6.2$		

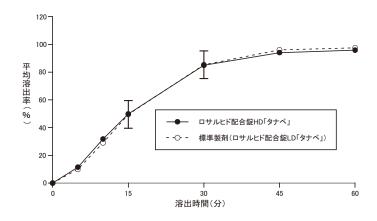
(n=12/時点)



②試験液: pH3.0 回転数: 50rpm

	平均溶出率(%)				
	5 分	10 分	15 分	30 分	
試験製剤	11.5±2.8	31.8±6.3	49.9±8.5	85.0±10.4	
標準製剤	9.9±5.4	29.0±8.9	49.5±8.1	85.3± 5.7	
	45 分	60 分			
試験製剤	94. 1±7. 4	95.9±4.8			
標準製剤	96. 1±3. 1	97.5±1.6			

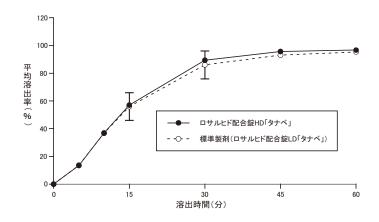
(n=12/時点)



③試験液:pH6.8 回転数:50rpm

	平均溶出率(%)					
	5 分	10 分	15 分	30 分		
試験製剤	13. $4\pm 3$ . 7	36.9± 8.3	$57.0 \pm 11.0$	89.4± 7.7		
標準製剤	$13.7 \pm 5.7$	$36.7 \pm 11.9$	56.0±14.8	86.0±11.2		
	45 分	60 分				
試験製剤	95. $7\pm 2.3$	96. $7 \pm 1.2$				
標準製剤	93. 1±5. 9	95. 4±4. 3				

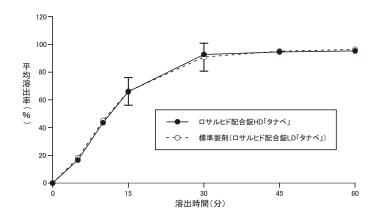
(n=12/時点)



## ④試験液:水 回転数:50rpm

	平均溶出率(%)					
	5 分	10 分	15 分	30 分		
試験製剤	16.6 $\pm$ 3.7	43.5± 8.4	$65.9 \pm 10.5$	92.8±4.9		
標準製剤	18. $1 \pm 6$ . 1	$45.1\pm12.1$	66.1±14.8	90.8±8.8		
	45 分	60 分				
試験製剤	94.6±1.9	95. $3\pm1.4$				
標準製剤	95. 1±3. 6	96. 4±1. 9				

(n=12/時点)



## ⑤試験液:pH3.0 回転数:100rpm

	平均溶出率(%)				
	5分	10分	15 分	30 分	45 分
試験製剤	24. 4±4. 8	55.1± 7.9	76.4± 8.6	97. 3±1. 2	98.6±1.4
標準製剤	20.1±7.2	49.4±10.1	$71.7 \pm 10.3$	97.7±3.0	99. 2±1. 7

(n=12/時点)

